

(別紙2)

令和2年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和3年2月19日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：池間島

協定対象漁業集落名：池間漁業集落

協定参加世帯数：31世帯（32人）

（うち漁業世帯数：31世帯（32人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、池間集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

漁獲物を船揚げする前にサメによる食害等の漁業被害があるため、漁場の管理・改善によりサメ駆除を実施し漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。

- ・漁場の管理・改善（サメ駆除）



揚げ縄



陸揚げしたサメ

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

漁獲物の魚価の向上等を目指し、高付加価値化の取組により神経締め講習会を実施し漁獲物の高付加価値化を図ることとした。

- ・高付加価値化（神経締め講習会）



神経締め実演



神経締め実演

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 434 千円

漁業集落漁業就業者数 32 名

漁場の管理・改善の取組でサメ駆除を実施することにより 38 匹のサメを駆除することができ、漁獲物の漁業被害の軽減及び安全操業を図ることができた。

高付加価値化の取組で神経締め講習会を実施することにより漁業者に神経締めの方法、効果等を伝えることができ漁獲物の高付加価値化について意識させることができた。高付加価値化には多くの漁業者が継続的に神経締めを実施することが大切だと考えているため、継続的に神経締めを実施し漁獲物の高付加価値化を図っていく。